

会議録

1 附属機関の名称

犬山市民展審査会

2 開催日時

令和7年9月5日（金） 午前10時から11時30分まで

3 開催場所

犬山市南部公民館 会議室1

4 出席した者の氏名

- (1) 委員 宮地瑛子（犬山市民展審査会（文芸の部）会長）、馬淵典子、岡田義彦、かわいふくみ、酒井とし子、松岡美千代、飯田重樹、市川博
- (2) 執行機関 文化推進課
大黒課長、中島課長補佐、鈴木再任用職員

5 議題

第71回犬山市民展審査会（文芸の部）

- (1) 出品数の報告
- (2) 各賞の授与点数について
- (3) 市長賞・議長賞・教育委員会賞・文化協会賞・奨励賞・優秀賞について
- (4) 講評について

6 傍聴人の数

0人

7 内容

会長の選出 宮地瑛子委員を委員推薦により会長に決定

最初に事務局から議題（1）～（4）について資料に基づきまとめて説明

馬淵委員：昨年も話題になったが、市長賞、議長賞、教育委員会賞、文化協会賞の4賞については、同一出品者が部門をまたいで重複受賞することはない方が良くないか。

宮地会長：市民展ということもあり、特定の人物に偏った賞の授与は避けるべきだし、過去の審査においてもそうした方針で選定してきたと記憶している。今回もその方針で進めたい。

市川委員：今回、他の部門に比べ川柳の作品が少ないようだが何か理由があるのか。

事務局：川柳だけでなく、前回と比べて全体の応募作品も減少している。今回から小中学生の応募は電子投稿のみとしたので、何らかの影響があったかもしれない。例年、校長会を通じて、作品の応募について依頼をしているが、応募作品の内訳を見る

と、部門間での差だけでなく、学校間での差もあり、各校の教員の力の入れ具合や学校としての考え方の違いにより、そうした差が生まれているものと推測している。

宮地会長：学校の国語の授業では、季語が無くても良いようにして俳句を教えており、それが影響しているかもしれない。子どもたちが俳句として応募しているものの中には、本来は川柳に該当するものも多くあるかもしれない。

飯田委員：応募作品を増やすためには、過去の実験から校長会を通じて各学校へアピールすることは一番効果的だと思うので、引き続き続けてほしい。

かわい委員：今回、審査委員を引き受けるにあたり、経歴の確認があった。例年作品集等に私達委員の名前は掲載されるが、経歴や肩書の記載はない。どういう人物が審査をしているのかを明確にした方が、応募者も増えるのではないかな。

宮地会長：市民展であることを考えると、特に肩書等の記載はなくても良いのではないかな。作品集には審査委員として作品を掲載するので、読んだ人がどんな審査委員かを評価することになる。私たちはプライドを持って作品を提出すればよいように思う。それでは、審査委員の肩書等は掲載しないということではよろしいかな。

全委員：異議なし。

宮地会長：それでは、これから一般の部の4賞（市長賞・議長賞・教育委員会賞・文化協会賞）の受賞作品及び奨励賞、小中学生の部の優秀賞、入選作品の審査に入っていただきを選定し報告をお願いする。

（審査）

宮地会長：それでは、お手元の各部門の選定作品の一覧をご確認いただきたいが、本日の会議で議論となった重複受賞者もないので、これらの作品を各賞の授賞作品と決定し、教育委員会へ答申することではよろしいかな。

全委員：異議なし。